



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019

改訂日 2024-07-17
改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Solution N
製品コード SD8498
登録番号 情報なし
安全データシートの供給者の詳細

供給者

日本：
タカラバイオ株式会社
〒525-0058
滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
電話：+81.77.565.6972
Web：www.takara-bio.co.jp

中国：
Takara Biomedical Technology (Beijing) Co., Ltd.
Life Science Park, 22 KeXueYuan Road, Changping District,
Beijing 102206, China
電話：+86.10.8072.0980
Web：www.takarabiomed.com.cn

緊急連絡電話番号 In case of emergency, call PERS (Professional Emergency Resource Services)
1-800-633-8253 (US) or 801-629-0667 (international).

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 研究用途に限る。診断には使用しないこと
使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響はない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

注意書き
安全対策
・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること
・ 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること

応急措置
・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
・ 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること
保管
・ 該当しない
廃棄
・ 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性
軽度の皮膚刺激。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
TRADE SECRET	企業秘密	1 - 5	情報なし	収載なし	既存	記載されている

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)
該当しない

労働安全衛生法
通知対象物質
該当しない

表示対象物質
該当しない

特定化学物質等(特化則)

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合 アレルギー性呼吸器反応を起こすおそれ。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。空気の新鮮な場所に移すこと。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。

皮膚に付着した場合	石けん(鹼)と水で洗うこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。
眼に入った場合	上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
飲み込んだ場合	アレルギー性反応を起こすおそれ。無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。咳及び／又は喘鳴。掻痒感。発疹。じんま疹。長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。
医師に対する特別な注意事項	過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。吸入により感作を引き起こすことがある。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。保護眼鏡、不浸透性の保護衣、手袋及び／又は長靴を着用すること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用すること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。施錠して保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー

洗眼場

換気システム。

許容濃度

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的モニタリング指標

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

環境ばく露防止

情報なし。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

眼及び／又は顔面の保護具

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。適切な眼保護具を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。不浸透性衣類。耐薬品性エプロン。不浸透性の保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観

透明、無色

物理状態

液体

色

無色透明

臭い

情報なし

臭いのしきい値

情報なし

特性

値

備考・方法

融点／凝固点

データなし

情報なし

沸点／沸点範囲

データなし

情報なし

可燃性

データなし

情報なし

爆発下限及び爆発上限／可燃限界

燃焼上限:

データなし

可燃性下限:

データなし

引火点

データなし

ASTM(米国試験材料協会) D 56

蒸発速度

データなし

情報なし

自然発火点

データなし

情報なし

分解温度

データなし

情報なし

pH

データなし

情報なし

粘度

動粘性率

データなし

情報なし

動的粘度

データなし

情報なし

水への溶解度

データなし

情報なし

他の溶剤への溶解度

データなし

情報なし

n-オクタノール／水分分配係数(log値)

データなし

情報なし

蒸気圧

データなし

情報なし

相対ガス密度

データなし

情報なし

相対密度

データなし

情報なし

粒子特性

粒径

データなし

該当しない

粒径分布

データなし

該当しない

その他の情報

爆発性

情報なし

酸化性

情報なし

10：安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし。
危険有害性分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報
情報なし

症状
アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。咳及び／又は喘鳴。長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。「吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ。
吸入	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。(成分に基づく)。
皮膚接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。軽度の皮膚刺激。
眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
皮膚腐食性／刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。軽度の皮膚刺激。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
誤えん有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
未知の危険有害性物質の濃度	混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
オゾン層への有害性 他の有害影響 内分泌かく乱物質情報	分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG	規制対象外
ADR	規制対象外
IATA	規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法：

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

凡例：

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト／非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品 化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

NZIOc - ニュージーランド化学物質インベントリー

TCSI - 台湾既存化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日2024-07-17

改訂記録情報なし。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例	セクション8：ばく露防止及び保護措置		
TWA	加重平均	天井値	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質 特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関 (EFSA)
米国環境保護庁
急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース (IUCLID)
製品評価技術基盤機構 (NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース (NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム (NTP)
ニュージーランド化学物質分類 情報データベース (CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり